

ごみ拾いSNS



楽しみながら社会貢献

拾ったごみの
写真を撮って投稿



ピリカ

1. ごみ拾いの記録・発信
2. 「ありがとう」を送り合う
3. イベントに参加する

他の人の投稿に握手
マークをタップして
「いいね」を送ろう！



ありがとう！

ナイス！！



Thank you!



お疲れ様♡

活動投稿&アプリで交流

「ピリカ」は、2011年に日本で開発され、今では115カ国で利用されているアプリである。コロナの影響で集団ボランティアの活動は難しくなっているが、個人の活動は増えている。「ピリカ」のダウンロード数もコロナ禍前に比べ3倍に伸び、これまでの参加者数は延べ2百万人、拾われたごみは2億6千万個を超える。このアプリを活用するとごみ拾いの可視化ができ、たくさんの人から「ありがとう」をもらうだけでなく、多くの人のごみ拾いをしてくれていることに気づく。ごみ拾いが、個人のエシカルな行動のひとつとして受け入れられ、さらなる活動の広がりを期待されている。

まっている未来

全世界で人口はどんどん増え、その分人間が出すごみの量も増えている。ポイ捨てなど適切に処理されないごみの多くは海へ流出し、プラスチックのごみは木や紙と違い腐敗せず、現段階では2050年には海の中に浮かんでいるごみの重量と、泳いでいる魚の重量が逆転するといわれている。そうすると、魚の餓死や動物のケガ、食物連鎖の問題へつながり無視できない状態へと進んでいる。



タカノメでできること

1. ポイ捨てごみの分析
2. 対策施策の効果測定・改善提案



アルバトロスでできること

1. 海中のマイクロプラスチックの調査
2. 流出品目の分析

- ◇ タカノメやアルバトロスによって調査・分析されたゴミの再資源化
- ◇ 同じ成分を集め、カゴやコーンなどの商品へリサイクル
- ◇ 地域のゴミをその地域で再利用



ゴミの地産地消という循環の輪が広がる！